

2校の誕生と校章の由来は…

前回は創立記念日の特集しましたが、今回は校章と由来を紹介します。(※両校の教育計画から転写)

天王小学校 明治8年3月2日に東湖学校(天王小の前身)が本町下町に創立、明治25年に天王尋常小学校となり、昭和12年、天王本郷地区から現在の場所(児玉)に校舎移転。



中央に
天王小の文字
周囲に
三本の箭羽
松のイメージと
ペンの形
伝統を受け継ぎ
ふるさとに
根をはり
未来に向かっ
はばたく天小

校章の由来

東湖小学校 昭和26年5月27日に天王小学校(児玉)から現在の場所(宮の後)に分かれて、独立記念式典を挙げる。



校章の由来

- 1 構図全体は、天王の「天」の図案化(中に王をもってかこむ)
- 2 両羽根は希望と飛躍をあらわす
- 3 円は八郎瀧をあらわす

第2回統合準備委員会の協議内容をお知らせします

7月19日(水)18:30 から市民センターかたりあんで「第2回天王小学校と東湖小学校の統合準備委員会」を行い、①統合校の校名と、②通学体制 についての意見をお聞きました。

①統合校の校名 については、

- 「地域や市内外の住民にとって親しみやすく、広く受け入れやすいこと」
- 「校名から地理的イメージがわかりやすいこと」
- 「理由が明確で説得力があること」

を基本的な考え方として協議し、様々な意見が出された上で、まとめとして「東湖小学校区はもともと天王地区であり、両校創立の歴史的経緯等を踏まえれば『天王小学校』が基本的な考え方からしても、ふさわしい」との意見でした。

今後は、この委員会意見を参考に教育委員会で協議し、更に8月下旬に行われる総合教育会議(市長と教育委員会)で協議してまいります。

②通学体制 については、「徒歩」「既存の公共交通機関」のいずれかの方法とする、という案をもとに、東湖小児童が通うことになる距離や状況、現在の天王小学校児童の通学距離や現状などの質疑のほか JR 利用やマイタウンバス利用等についての意見がありました。次回の委員会で、引き続き具体的なご意見をお聞きしてまいります。

次回の第3回統合準備委員会は、8月下旬に開催予定です。

////// ご意見・お問合せはこちらへ//////

市教育委員会では、随時、皆様からのご質問等をお受けしています。いつでもお問い合わせください。

窓 市役所庁舎2階 教育総務課 電話 853-5361 メール esoumu@city.katagami.lg.jp